

シビック型3層クライアントサーバモデル

『めぐ録』を例に

東京福祉専門学校 IT医療ソーシャルワーカー科

『めぐ録』はオープンデータを活用しWikidataに目黒区町丁の情報を登録する活動です。プログラマーでなくても、広く誰でもアクセス可能な仕組みで情報を記録しながら、アプリ制作が自由にできるようになりました。

目黒区町丁の例をモデルにして、日本全国の町で活用できる汎用的な仕組みです。町内会・観光に役立ち、地域住民の連携促進が期待できます。

オープンデータとWikidataのAPIを活用し、目黒区町丁情報をスマートフォンで参照できる仕組みを確立しました。このモデルはプログラマは全国的に展開できるWikidataからデータを取得するアプリ開発に専念できます。市民はプログラム・DBの技能がなくてもWikidataへデータ登録することでまちに貢献することができます（シビック型3層クライアントサーバモデル=データ層にソーシャルメディアを活用）。

3層クライアントサーバモデル

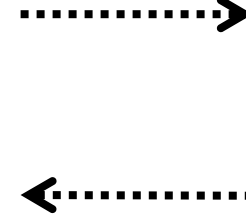
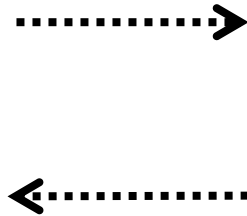
Client

Server

プレゼンテーション層

ファンクション層

データ層

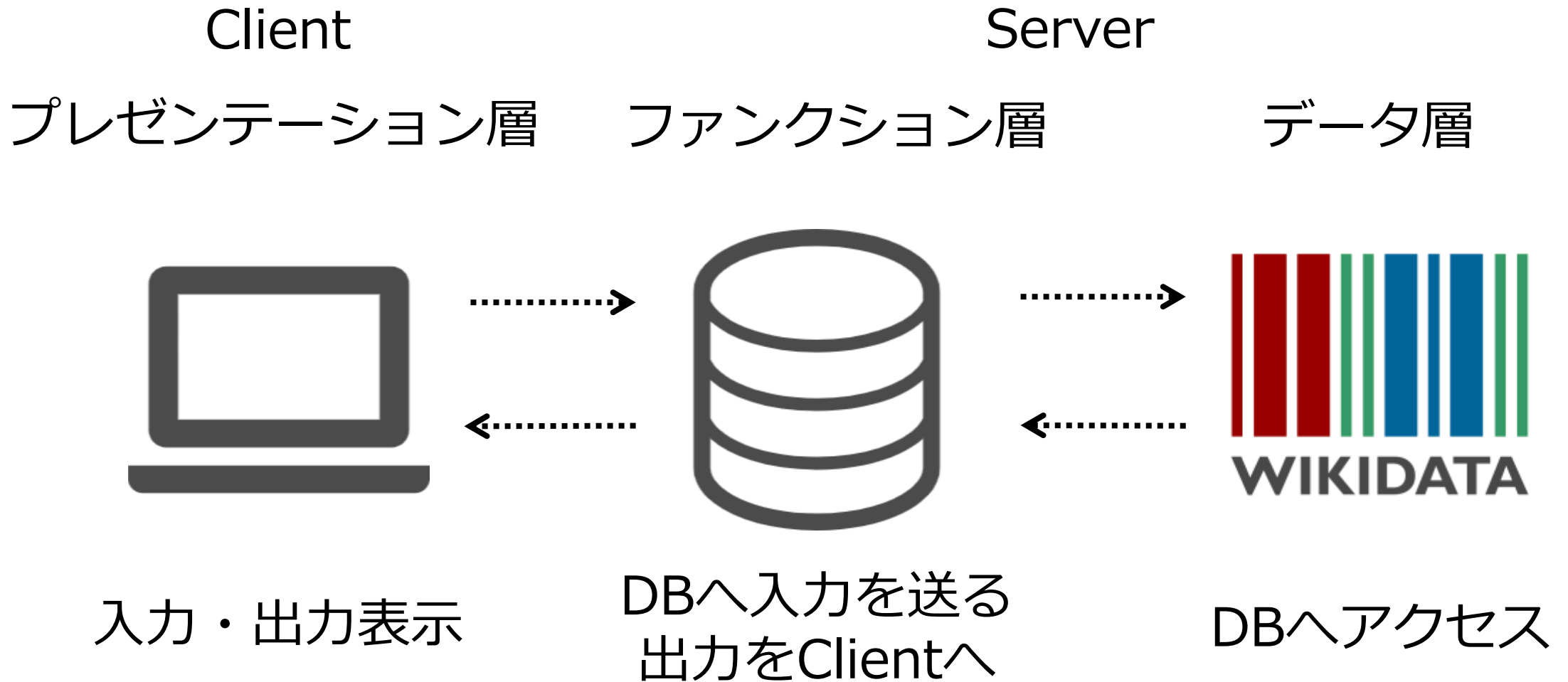


入力・出力表示

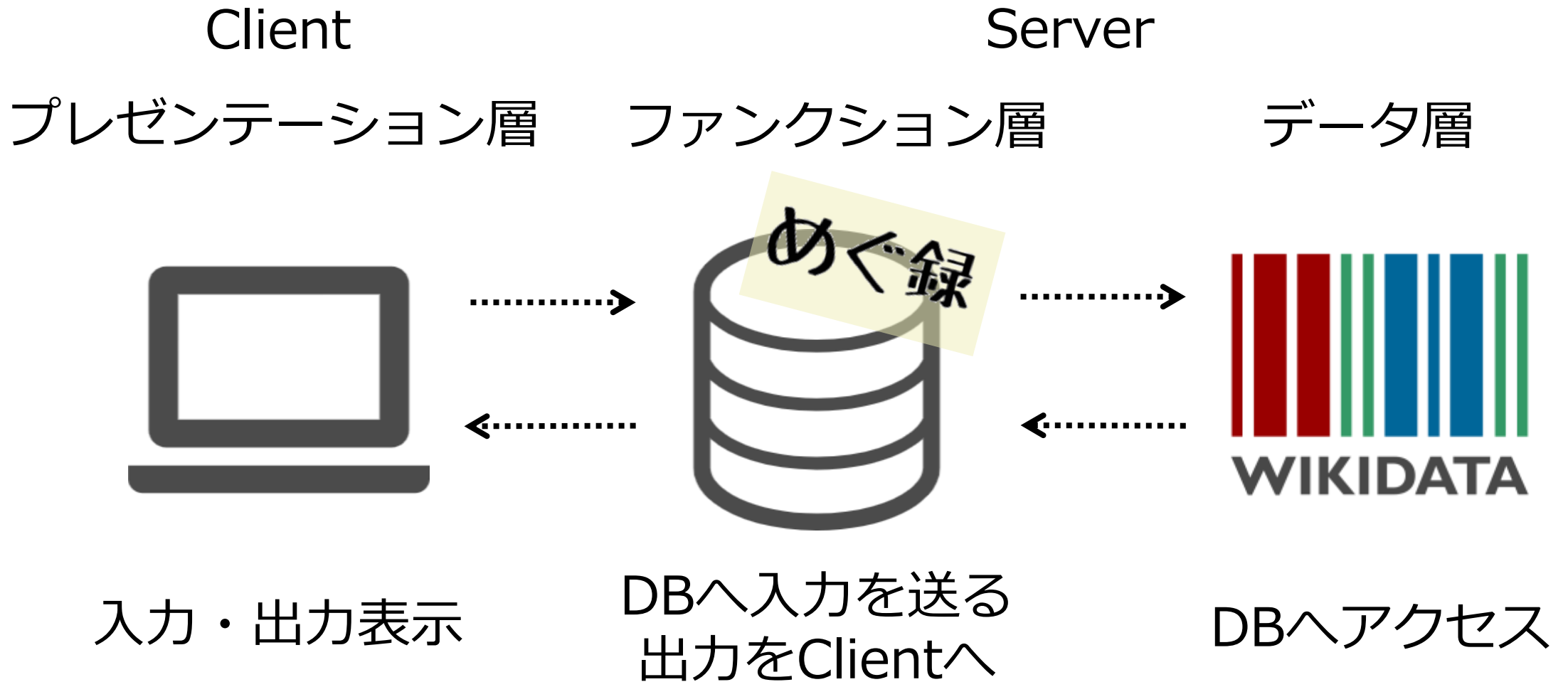
DBへ入力を送る
出力をClientへ

DBへアクセス

シビック型3層クライアントサーバモデル



シビック型3層クライアントサーバモデル



* データ層をWikidataにすることで、市民がSQLなどのデータ記述言語の知識を学ぶ必要はありません。開発者もデータベースサーバの管理、データの管理ページ等の開発が必要がありません。セキュリティ関連の開発や、アカウントの管理についても省略することができます。

* アプリケーションは、オープンソースにしましたので、オープンデータ等を利用して、Wikidataにデータ登録すれば、ほかの自治体でも同様にアプリを活用することができます。

『めぐ録』の例

■めぐ録

<https://it-social.net/meguroku/>